

町長一般経過報告

第3回広野町議会定例会

“日本一元気な町づくり” ふる里復興・創生「草創の年」 —いのちを守り、人を活かし・未来をつくる町—



遠藤町長

令和5年第3回広野町議会定例会が9月12日から15日までの会期で開催され、一般質問ならびに議案の審議がなされました。

会期初日には、遠藤町長が第2回定例会（6月開催）以降の町政経過報告を行いました。町民のみなさんにお伝えしたいことがたくさん盛り込まれていますので、主な内容の抜粋を掲載します。

台風13号の影響による災害対策本部

9月8日、午後7時49分に大雨警報が発表されたため、午後7時53分に災害対策本部を設置しました。午後8時22分に土砂災害警戒情報が発表され、夜間を通して気象情報の収集、関係機関との連携・対応に取り組みました。この間、気象庁より午後9時半までの1時間に広野町付近でおよそ100ミリの猛烈な雨が降ったとして、記録的短時間大雨情報も発表されました。午後11時29分、福島県知事から町長へ状況確認等の連絡がありました。9月9日、午後2時4分、大雨警報が解除され警戒配備体制を解除しました。この大雨により、人的被害および住宅等への被害はありませんでしたが、県道上戸渡・広野線の筈平地区で道路が崩落し、現在通行止めとなっており、同日、いわき市長に対し、お見舞いと災害対応への職員協力等について連絡を行い、「浜・中・会津友好協定」を締結する平田村長、西会津町長からお見舞いのご連絡をいただきました。

総務課

6月17日、広野町環境美化推進協議会が主催する美化活動が、広野町周辺で行われました。当日は、暑さが厳しい中、同協議会の根本会長をはじめ、JR職員OBや町職員など約60人が参加し、広野町の玄関口である駅前や駅構内の除草作業に取り組みしました。

6月24日、25日、第34回広野町民号「石巻・松島海岸巡りさくらんぼ狩りと米沢ふれあい旅」を町民や町内事業者など82名の参加のもと、コロナ禍の影響により4年ぶりに開催し、町民等が旅行を楽しみながら親睦を深めました。交流会において、来賓の櫻井公一 松島町長、小沢晴司宮城大学教授から歓迎の言葉をいただきました。

6月27日、故黒田政徳様への叙勲「旭日単光章」伝達式をご遺族同席のもと執り行いました。

7月3日、特別職及び職員26名参加のもと、福島第一原子力発電所視察を行い、廃炉



福島第一原子力発電所視察

及びALPS処理水の海洋放出への取り組みについて現況を確認しました。

7月4日、広野町地域公共交通活性化事業「NOSSE」出発式を行いました。従来の町民バスに新たに「デマンド交通を組み合わせたNOSSE



「NOSSE」出発式

にあるコミュニティバス福島のバスツアーに参加した小学生の団体のみなさんでした。セレモニーでは、参加者全員へ国産バナナ「綺麗」を使ったスイーツを贈呈しました。

8月27日、第7回福島第一廃炉国際フォーラムが双葉町産業交流センターで約200名の参加のもと開催されました。福島第一原子力発電所の廃炉を着実に進めていくため、国内外に対して正確性と透明性をもった情報発信が求められ、地元住民との丁寧な議論の継続が重要であります。

今般の開催は、8月24日の福島第一原子力発電所廃炉に伴うALPS処理水が放出された直後であり、主催のNDFや経済産業省、IAEAやOECDなどの国際機関、当事者の東京電力ホールディングス株式会社廃炉推進カンパニーによる見解と説明がなされ、会場との意見交換がなされました。

9月1日、里見経済産業大臣政務官が来訪し、二ツ沼総合公園の国産バナナ栽培事業で実施している産総研の地下水を使った熱交換システム

500人の教員・生徒が当町を訪問し、老人クラブの高齢者との交流や「沼津の杜公園」の河津桜の手入れなどを行ってきており、9月28日にも来町する予定です。

復興企画課

7月5日、第27回廃炉・汚染水・処理水福島評議会が、いわきワシントンホテルを会場に開催され、太田房江経済産業副大臣を議長に、15市町村長、県漁業組合連合会、県商工会連合会、原子力災害対策本部 廃炉・汚染水・処理水対策チーム、原子力損害賠償・廃炉等支援機構、復興庁などの関係機関、東京電力ホールディングス株式会社廃炉推進カンパニー、福島復興本社の事業者、総勢50名が出席しました。広野町は、処理水放出に伴う風評被害防止と国際機関による正確な情報発信、地域の合意形成について求めました。

7月12日、広野町東側第2期開発整備事業として、町と受託者パナソニックホームズ株式会社との共同による47区画の住宅造成工事が完成し、



広野町東ニュータウン宅地造成工事竣工式

北郷議長はじめ議員各位、来賓を迎えての竣工式が開催されました。

7月26日、27日、町、議会との合同要望として、第二期復興・創生期間後における被災地の支援継続、予算の確保、福島イノベーションコースト構想の推進、移住・定住の推



広野町・議会合同要望活動

進、カーボンニュートラルへの支援など、竹谷とし子復興副大臣、太田房江経済産業副大臣、柳本顕 環境大臣政務官、橋慶一郎 自由民主党東日本大震災復興加速化本部事務局長、吉野正芳本部長代理ほか、地元国会議員、東京電力ホールディングス株式会社に對し、要望活動を行いました。

7月30日、早稲田大学ふくしま浜通り未来創造リサーチセンター主催、第12回ふくしま学（楽）会が、県立ふたば未来学園中高一貫校をメイン会場として、リモートと合わせて約150名の参加者のもと開催されました。

8月6日、二ツ沼総合公園フルーツミュージアムへの来場者が5万人に達し、記念のセレモニーを開催しました。5万人目の来場者は、三春町

の取り組みにより、町民の買い物や通院、公共機関への移動手段の確保を図っていきま